



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2014

5月30日号

140
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024 (559)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

LOVE & PEACE



副会長 新里昌一

ジョン・レノンや清志郎が望んだ、戦争や内戦のない世界はいつ実現できるのだろうか？

シリアの内戦は、ロシアや中国の拒否権で国連が動けない。世界に感動を与えたソチオリンピックの陰で、ロシアがウクライナへ武力介入を見せつけて、クリミヤを編入する暴挙に出た。中国も武力を背景に東シナ海に展開して、近隣諸国の緊張を高めている。

国内でも平和憲法改正の動きに合わせて、集团的自衛権や秘密保護法の問題がある。巷ではアンネの日記が破られたり、Jリーグでの人種差別問題のニュースが流れ、不気味な影を落している。

戦争はいきなりではなく、知らないうちにじわじわ進んで行く。一つひとつの防止策を体裁の良い言葉を巧みに使い無能にして行く。全ての戦争は、「守るために始まる」事を覚えておいて欲しい。自国を守るためと言う大義名分で、いつの間にか外国への侵略を進める。

ベトナム戦争もアジアの共産化を防ぐと侵略し、イラクでもありもしない大量破壊兵器に日本も同調し戦争に進んだ。そして劣化ウラン弾の使用、勝ち組は何を行っても良いのか？

あの太平洋戦争でも、大東亜共栄圏の維持・平和を叫んで、日本を守るためと出兵・侵略を行った。赤紙1枚で学徒出陣として出兵、戦後は捕虜としてシベリア抑留を味わった私の父親も他界。もう戦争を知っている世代、語り部も少なくなっていく。ゲームでない戦争は、勝者や敗者もなければ勿論リセットもない。

我々、「戦争を知らない子供たち」だった世代も、いつの間にかお爺さんになって行く。しかし、子供や孫の世代でも、銃を待たせて戦地に送りたい親はいない。国のエゴの犠牲にならないように、世界情勢や国政に注意を払って生きて行きたい。

戦争ではない震災や原発問題でも、先祖代々の土地を失い、多くの犠牲に対して深い悲しみを生んだ。その規模を遥かに大きく上回る戦争は、絶対に起こしてはいけない。

多くの人を殺す戦争と、1人でも多くの命を救おうとする医療とは真逆にある。診療放射線技師会では、装置の修理履歴調査、疑義照会調査、環境省からの委託事業である住民の個人被ばく線量把握事業、大規模災害対策要領(案)等の数多くの活動を行っている。

私は、地域活動を含む技師会活動等の進む先が、社会貢献=何等かの世界平和に繋がっていると信じている。

平和でオリンピックやワールドカップが行われる、戦争や内戦のない世界を目指して行きたい。世界の子供たちが、明るい未来を見ていつも笑顔である事を望んでいる。

村上春樹のイスラエルでの演説のように、壁と卵があれば私も卵の方に立っていたい。それがROCKだと考える！ LOVE & PEACE。

平成25年度第6回理事会 議事記録

日時：平成26年4月18日(金)14:00～17:15

場所：福島県立医科大学附属病院放射線部カンファ
ランス室

出席理事：齋藤康雄、遊佐 烈、新里昌一、平井和子、
佐藤政春、白川義廣、水沼利夫、堀江常満、
秋山淳一、村上薫、佐藤孝則、白石嘉博

監事：片倉俊彦 事務局：伊藤陸郎、阿部郁明

欠席者：山田隆弘、佐藤佳晴、菅野和之、渡部育夫
会長挨拶の後、議長 齋藤会長、議事記録 白石嘉博
を指名し議事に入る。

1. 議事

1) 平成26年度総会資料の確認について

総会準備・プログラム等について

会津地区協議会委員長白川義廣理事からの進捗状
況報告

第69回(平成26年度)公益社団法人 福島県診療放射
線技師会定時総会

期 日：平成26年5月24日(土曜日)13:30～18:00

会 場：ホテルニューパレス

(会津若松市中町2-78 tel:0242-28-2804)

- ・一般講演会講師：鈴木敦雄氏(キャンベラジャパ
ン株式会社)への講師謝金を3万円にてお願いし
た。
- ・一般講演会「食品をはじめとした様々な放射能測
定の実際」のポスターを作製した。会のHPに掲
載する。会津嶺(タウン誌)他に掲載依頼し、市
民の方々へ広報する。
- ・会場のホテルニューパレスは、大会議室4時間の
借用料は8万円である。他にスクリーンやプロ
ジェクター、総会役員控え室、理事会の昼食を含
めると合計10万円となる。

総会までのスケジュールについて

- ・会報・総会資料CD・委任状発送の件
総会資料としてのCDと総会委任状を送付する
際に、技師会会報及び「フレッシューズセミナー」
の開催案内も同封する。発送時期は5月の連休明
け早々とし、委任状の返送先は会津地区協議会委
員長白川義廣理事宛、平成26年5月20日必着とし
た。
- ・会報は、4月中に仕上がる。仕上がり次第医大放
射線部へ納品する事とする。

総会資料について

会長から、昨年度の総会までは感謝状の授与は名誉
会員の推戴・承認をもって行っていたが、感謝状は
既にいただいている寄付に対して感謝の意を表する
ものであることから、他の表彰と同じように扱い、
名誉会員の推戴提案を第6号議案とする旨の提案が
有り審議したところ異議がなく承認された。

第3号議案の監査の件(片倉監事より諸事情により
先に提案された)

平成26年4月16日(水曜日)医大放射線部技師室
において片倉監事による監査をおこなった。(立会
人：遊佐副会長、伊藤事務局長、阿部事務局員)

「公認会計事務所へ会の会計事務を委託した経緯
より、会の公益法人会計基準による決算報告が4月
下旬になるため、本監査は公益法人会計基準による
決算報告、及び外部監査を交えた監査の前に行う仮
の監査という位置づけにて事業ベース決算について
の監査行ないました。」「事業ベース決算報告書、現
金出納帳、支出調書及び領収書その他関連書類は厳
密に処理されており、予算の執行は適正であることを
認めます。」「現金出納帳と公認会計事務所の仕訳
帳は同じ内容であることを付記します。」との報告
が片倉監事よりあった。また、同時に事業執行時の
留意点として下記の項目が片倉監事より挙げられた。

1. 事業費

- ・決算額0円の項目があり検討を要する。

項目名：「成人病従事者講習」、「調査指導」

- ・予算が過大と思われる項目

項目名：「会報」製作費(決算額に対し予算額
が大きすぎる点を指摘)

2. その他

- ・会員に還元できる事業の開発を更に増やすこと

第2号議案 決算報告について

監査報告に関連する第2号議案を先に審議した。
決算報告は会計事務所からまだ出されていないので、
会計事務所に提出している仕訳と同一のもので本会
が作成した事業ベースの決算書で本理事会にて仮承
認をいただき、正式な決算書の理事会承認は、総会
前の理事会にて審議して承認をいただき総会に諮る
こととしたい。また、高橋監事、片倉監事の監査は
公益法人会計基準により決算報告がなされた後に行
い、総会前の理事会に監査報告を諮る事とし、本理
事会では、片倉監事の事業ベース決算報告で行った

仮の監査報告の承認を得て総会資料に載せ、これも総会前の理事会で正式な監査報告書で承認を得てから総会に諮ることで良いか諮ったところ、異議がなく承認された。

総会役員について

- ・総会運営委員（4名）
菅野修一氏（県南）、亀山欣之氏（県北）
幕田節男氏（委員長 会津）田中邦夫氏（浜通）
- ・議長（2名）
高橋香保里氏（会津）池田昭文氏（浜通）
- ・書記（2名）
渡部 仁氏（会津）金田昭二氏（会津）

以上を執行部としての総会役員案とした。

永年勤続20年表彰について

候補者を各地区協議会から報告していただいた。表彰委員会にて資格審査を行い候補者全14名が可とされた。14名の表彰について諮ったところ異議がなく承認された。

- ・水沼理事より、「会員名簿に会への入会年月日の記載が洩れている会員がいます。」との報告があり、事務局にて確認して対応を図る事とした。

永年勤続30年表彰について

県技師会から推戴した候補者11名の資格審査の報告がJARTよりあり、全員の受賞が決定した。26年度の全国大会（大分県 別府市）にて表彰が行われる。

定時総会進行表（シナリオ）について

齋藤会長より定時総会時の進行表（シナリオ）を作成した旨の報告があった。語尾の言い回しなどは、それぞれの方々の表現に委ねるとして、気付いた点は後日メールにて連絡し必要に応じて修正・加筆することとした。

第1号議案 平成25年度事業経過報告について提案内容で異議なく、承認された。

第4号議案 平成26年度事業計画案について提案内容で異議なく、承認された。

第5号議案 平成26年度収支予算案について片倉監事の監査報告による留意点を受け、以下に事に留意して平成26年度予算を立案した。

- ・分科会、部会に事業起案を出してもらい事業を多く展開する。

- ・会員が行う研究に助成をする。（学術大会での発表を前提とする）
- ・地区協議会で行う事業も多く展開する。
- ・会報の内容については、各研究会での研究グループに研究助成金を与えて共同研究を促し、学術大会にて演題発表をした後、会報に研究報告を収載するなど、内容充実の方向で検討する。申請書などのフォーマットを整備していくことも確認した。
- ・会長交際費について会長としての冠婚葬祭を含めた交際費について、需用費として支出計上する事で承認した。合わせて、本会会計を担う事務局員への謝金も需用費へ計上することとした。

減価償却費について

公認会計事務所より、減価償却費の積み増しを進言され、95万円余りを計上したが、当法人の特性から、「積立金を増やすことよりも、事業を多く展開できるよう予算措置を取ることにしたい。」旨を公認会計事務所に伝え、今後検討することとした。

- ・平成26年度予算案は、上記の点を踏まえ原案を修正し承認された。

2) 報告・その他

JARTの情報システムについて

地域、端末によって開けないなどの苦情が寄せられているとの報告があるので、みなさん其々に、JART情報システムにアクセスして確認してもらいたい旨の報告があった。

JART関係

放射線機器管理士の推薦について

池田昭文氏（渡辺病院）または、佐藤政春氏（町立三春病院）を推薦する。（機器管理士認定が条件にあるかどうかで両氏のうち1名を推薦することで承認した。）

- ・「平成27年度より県のみの方の会員の会費収納は県技師会の業務になる。」との連絡がJARTよりあった。これまでの経緯を確認し、県技師会として対応を検討していくことにする。

- ・地区協議会毎にお願いしていた個人線量測定協力に関して、4月19日（土曜日）に説明会が開催される。

齋藤会長、遊佐副会長が出席し、測定データの後利用についてなど関心事を聞いてくるとの報告があった。

マンモグラフィ精度管理講習会開催について

平井理事より過去開催した講習会の経緯について説明があった。

- ・受付窓口と会場担当の負担が著しいこと。
- ・会場となる開催場所としては、基本的に土曜、日曜の2日間利用できる事。
- ・医大附属病院においては、過去使用していた部屋に震災後の影響で様々なものが納められ会場としてのスペース確保が難しいこと。などが開催の課題として挙げられた。

平成26年度は開催見送りを決定したが、27年度以降の開催については、担当者の負担軽減措置、会場確保の観点から検討を継続し、仮に開催できるとすれば、技術学会が北海道と仙台での交互開催している仙台開催が今年度なので、重ならない来年度に予定し、27年2月までに精中委へ開催申請を提出し、会員がスケジュールを立てやすくするなど工夫を重ね立案していく事として承認された。

平成26年度「フレッシュャーズセミナー」開催について

堀江理事より下記の提案があった。

「診療放射線技師のための

フレッシュャーズセミナー開催のご案内」

日 時：平成26年6月15日（日曜日）

午前10時より午後4時まで

場 所：太田西ノ内病院（郡山市）

対象者：新人及び概ね3年目以下の診療放射線技師
参加費：無料

申し込み先及び締め切り：完全予約制6月9日締め
生涯教育担当 堀江常満まで

メールにてメールアドレス：horie@ohara-hp.or.jp
原案通り承認された。

衛星携帯電話について

齋藤会長より福島県より要請され購入した衛星電話が納品されたとの報告があった。緊急時の連絡体制に課題があるので、今後検討を重ね運用していくこととする。県より228,000円の助成と技師会から900円を購入資金に当てた。維持費は全額技師会負担となり、月5000円（1000円の通話料含む）の経費が掛かる。

その他

- ・精度管理委員会委員長：佐藤政春理事よりX線ア

ナライザー（ピラニア）取扱説明会の日程が示された。浜通・いわき地区（いわき共立病院：4月24日）を皮切りに、県北地区、浜通・双相地区、会津地区、県南地区（太田西ノ内病院：8月28日）まで計5回。

このときの説明担当者の旅費についても、旅費規程に則り支払うことで承認された。

- ・佐藤政春理事より、学術大会において発表された演題の中から、「学術奨励賞」、「学術奨励新人賞」、「学術奨励賞論文の部」にわけて顕彰することの提案あった。

「学術奨励賞」：年齢等に関係なく顕彰する。

「学術奨励新人賞」：職歴5年未満の方に限定して顕彰する。

旧「シネ研賞」を名称変更し、「学術奨励賞論文の部」として、論文の体裁を整え、JART誌、学会誌論文として掲載された場合に顕彰する。

各賞については理事会にて承認されたが、細目については、学術委員会にて更に検討することとした。

- ・片倉監事より名誉会員の名簿記載について、65周年記念発刊した会員名簿に名誉会員名の収載がなされていないとの意見があり、お詫びと追加の記事を「県放技ニュース」にて掲載することとした。

- ・生涯教育担当：堀江理事より講習会受講上位者ランキングリストが提示され、表彰対象者を上位3名までとすることで承認された。上位25位までの名簿をHPに掲載する。（理事は表彰対象外）

- ・齋藤会長より、平成26年度JART総会時の役員改正において、東北地域技師会からの推薦は、東北地域会長会議で、全国理事に秋田県会長の土佐鉄雄氏、東北地域理事に宮城県会長の阿部養悦氏、加えて全国理事に東京都の現理事北村善明氏の3名とすることを決めた旨の報告があった。

～お知らせ～

「平成26年度精度管理委員会事業」

精度管理普及事業：精度管理調査（データ収集）を兼ねたX線アナライザー（ピラニア）取扱説明会（実習、精度管理調査）を下記の日程で行います。今後貸出を希望する方はご参加下さい。

参加希望者は各地区の精度管理委員にお問い合わせ下さい。

浜・いわき地区 取扱説明会

平成26年4月24日(木)16:00

磐城共立病院 放射線部

会場責任者 精度管理委員：角浜 憲孝

県北地区 取扱説明会

平成26年5月29日(木)16:00

栢記念病院 放射線部

会場責任者 精度管理委員：古川 徹

浜・相馬地区 取扱説明会

平成26年6月26日(木)16:00

渡辺病院 放射線部

会場責任者 精度管理委員：池田 昭文

会津地区 取扱説明会

平成平成26年7月24日(木)16:00

会津医療センター放射線部

会場責任者 精度管理委員：渡部 郁夫、佐竹 一博、星 寿郎

県南地区 取扱説明会

平成26年8月28日(木)16:00

太田西ノ内病院 放射線部

会場責任者 精度管理委員：加藤 利夫、佐藤 政春

* 一般の貸し出しは10月から予定しています。

《フレッシュャーズセミナー》のご案内

日 時：平成26年6月15日(日)

場 所：郡山市西ノ内2丁目5-20

太田総合病院太田西ノ内病院5号館 2階研修センター1

プログラム

時 間	講座名	内 容
9:00~9:20 9:20~9:30	受 付 自己紹介	
9:30~10:00	マナー・ エチケット	患者接遇及び服装・ 電話対応等について
10:00~11:00	医療安全	リスクマネジメント・ インシデント事例について
11:00~12:00	感染対策	標準予防策・太田西ノ内 病院の感染対策の事例
13:00~15:00	気 管 支 解 剖	2011JART気管支解剖 講座の内容
15:00~16:00	入会促進	公益社団法人日本放射線 技師会入会の案内

先輩技師さんの同行大歓迎です。

6月9日までに下記にお申し込み下さい。

《お申し込み・問い合わせ先》

福島県診療放射線技師会 生涯教育担当

大原総合病院画像診断センター 堀江まで

e-mail: horie@ohara-hp.or.jp

地 区 だ よ り

県 南 地 区

「全 体 会」

期 日：平成26年4月23日(木)19時より

場 所：ビッグアイ7F 第2会議室

全体会に先立ち、18時30分より精度管理委員会 委員長（県南地区協議会 委員長）の佐藤政春氏より「非接続型X線アナライザー（ピラニア）について」の教育講演が開催されました。特に一般撮影装置領域において、信頼される医療被ばく管理の実現に向け、QCの重要性を再確認しました。県技師会にて購入した「ピラニア」の取扱説明会開催について、今後の予定などにも触られました。

・全体会

真船浩一氏（公立岩瀬病院）の議長選出に引き続き、

25年度事業報告、決算報告及び監査報告があり、それぞれ原案通り承認されました。

26年度の事業計画では、新たに郡山市保健所からの要請による「生きいき郡山21健康推進事業」の構成団体へ参加することとなりました。具体的な活動は今後の打ち合わせによって展開されますが、当会の代表として佐藤政春委員長が出席することとなります。例年通り、サマーセミナー（講演）、新年勉強会（会員発表）や「ファミリーフェスタ 郡山」、「ピンクリボン in 郡山」、「しらかわピンクリボンの会フォーラム」など公益活動へも積極的に参加していくこととなりました。また、会員の親睦を図るため、サマーセミナー後には「ピア・パーティー」、新年勉強会後には「新年情報交換会」を企画します。例年活況を呈していますが、今年度も多くの会員に参加し

て頂ければと思います。

地区協議会役員の一部改選の提案がなされ、下記に示す通りとなり、新たに真船浩一氏（公立岩瀬病院）が監事に就任されました。

以上、26年度予算案を含め全ての議案に関し、原案通り承認され全体会を終了しました。（白石）

浜 通 地 区

平成26年4月19日14：00より「平成26年度公益社団法人福島県診療放射線技師会浜通地区協議会全体会が開かれました。



水沼委員長の挨拶から始まり、新入会会員紹介、資格審査委員、議長、書記などが選出され資格審査委員が地区協議会全体会が成立したことを宣言され平成25年度事業、会計、平成26年事業計画、予算案の報告があり満場一致で可決されました。

また、同日、平成26年4月19日浜通地区協議会全体会前後に役員会が行われ、平成26年度（公社）福島県診療放射線技師会浜通地区協議会、平成26年度事業案、今後の活動について話し合いました。



その他にて、東日本大震災から3年過ぎても交通網の分断など共に活動する困難さなどが挙げられました。

今後の活動として、平成27年に交通が再開され、以前のような活動ができる事を期待すると、役員会を終了しました。（菅原）

会 津 地 区

「全 体 会」

期 日：平成26年4月26日(土)17：30より

会 場：ホテル ニューパレス 3F

- ・地区協議会全体会に先立って、16：30から会津画像研究会が行われ、今回はGEヘルスケア・ジャパン株式会社の東日本CT営業部長を務めていらっしゃる両角政宣氏より御講演をいただきました。演題は「CTの最近の動向」と題して、とりわけここ数年飛躍的に進化したMDCTの性能や機能の話から、今後どのような方向に発展をしていくのか、あるいは他のモダリティとの融合や機能を担保できるようになるのかなど、多岐にわたって貴重なお話をいただくことが出来ました。
- ・地区協議会全体会では、幕田節男氏（坂下厚生総合病院）の議長選出に引き続いて、平成25年度会津地区協議会事業報告、収支決算報告並びに監査報告があり、原案通りに承認されました。

平成26年度事業については、例年通り会津画像研究会の実施と「会津若松市健康祭り」への公益活動の積極的な参加をすることになりました。さらに今年度は、公益財団法人福島県診療放射線技師会が発足しての定期総会が5月24日(土)14：00より会津地区にて開催されますので、地区協議会委員の協力体制のもとで無事に執り行われるよう、協力していきたいと思っております。

平成26年度事業案および予算案などすべての議案に関して、原案通り承認をいただき、地区協議会全体会を終了しました。（森谷）

訃 報

浜通地区協議会 古内孝紀氏（享年60歳 渡辺病院）が5月13日に逝去されました。

17日に告別式が行われ、県技師会並びに浜通協議会から香典・花輪を捧げご冥福をお祈りしました。

編 集 後 記

25年度から新しく広報委員になり1年が過ぎました。今年になっても気候変動が激しく、技師会会員の皆様も体調の維持が難しいと思います。26年度も広報を通じて情報発信ができるようお手伝いをしていきたいと思っております。（大井）